

令和7年度 串間市立市木小学校「学校関係者評価書」

評価の基準	「4」期待以上 ～85%	「3」ほぼ期待通り 84%～70%	「2」やや期待を下回る 69%～40%	「1」改善を要する 40%～
学校の教育目標	自信に満ち 豊かな心をもって たくましく生きる子どもの育成			

本年度の重点目標		〇 生きる力を育む確かな学力の育成 【知：共に学び伝え合う喜び】				
評価項目	評価指標	学校の自己評価コメント	自校評価	外部評価	学校関係者評価委員コメント	
生きる力を育む確かな学力の育成	■分かりやすい授業づくり ・授業に向かう態度 肯定的回答 児童 100% 保護者 100% 教師 100% 平均 100% ・授業内容の理解 肯定的回答 児童 97% 保護者 88% 教師 89% 平均 91%	1 概ね「4」の評価 〇 児童・保護者・教師の全てにおいて肯定的な回答を行っていた。児童は、楽しいと感じながら学習に取り組むことができている。また、教師も授業展開を工夫して、考える場面を多く設定した学習を展開している。 2 概ね「4」の評価 〇 本年度の校内研修で「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた指導の在り方について研修し、対話的に学ぶための手立てや工夫をしながら学習を進めてきた。複式指導時の間接指導時には話し合いを進めたり意見交換をしたりする姿が多く見られ、児童は成就感や自己肯定感が高まったのではないかとと思われる。さらに、わかりやすい授業が展開できるように研修に努めていく。				〇 私が今、市木小学校の児童だったらと、うらやましく思う。肯定的回答が児童も保護者も教師も全て100%は最高の結果である。この評価を維持し、より一層内容を高めてほしい。 〇 教師の授業展開の工夫もあり、考える場面を多く設定され、安心して各自の意見が出やすい雰囲気となっている。 〇 各学年複式学級という環境の中で、うまく時間を活用され、意見交換を通して深い学びの場ができている。 〇 落ち着いた環境の中、わかりやすい授業が行われており、学校全体に学習に集中できる雰囲気醸成されており、児童が伸び伸びとした様子が伺え、頼もしさを感じる。 〇 パソコンやスマートフォンなどの使用は、時代の流れであり、それに沿うことも必要ではあるが、ICTの利便性に享受する一方で、アナログ的な技能（手書き等）の定着が疎かにならないように、バランスのとれた指導を継続していただきたい。
	■基本的な学習態度や望ましい学習習慣の形成 ・聞く姿勢や態度 肯定的回答 児童 97% 保護者 94% 教師 56% 平均 82% ・考えを伝える力 肯定的回答 児童 83% 保護者 82% 教師 78% 平均 81% ・漢字力、計算力 肯定的回答 児童 97% 保護者 88% 教師 67% 平均 84%	3 概ね「3」の評価 〇 「しっかりと話を聞いていること」について、児童や保護者は肯定的な回答が多いが、教師の評価は低くギャップがある。「相手の目を見て」「最後まで聞く」ことに課題があると思われるので、今後更に指導の徹底を図っていく。 4 概ね「3」の評価 〇 教師の評価は昨年75%、一昨年67%より向上している。児童が考えを正確に伝えるためには、文章表現力も必要なため、短文作りや視写といった取組をスキルタイムも活用して今後も継続して行っていく。 5 概ね「3」の評価 〇 本年度も15分の「スキルの時間」また水曜5校時の「スキルタイム」を設定し、学習内容の確実な習得を図った。また、学期末に漢字コンテストを実施し、満点の児童は全体の場で表彰する活動を行っている。このことにより、満点を取ろうと頑張る児童が多く、効果があがっている。		3	4	〇 質問の意図や、伝えたい内容をわかりやすく伝えられるように工夫するとともに、児童も理解することに集中する努力をしてほしい。 〇 話を聞く力は、学習面においては、記憶力・理解力とつながり、学力を向上させるためには基本となる力なので、どのようにしたら伸ばせるかと方法を探っていただきたい。 〇 自分の考えを伝える力は、育ってほしい大切な力なので、スキルタイムで今後も短文作りなどを継続してほしい。 〇 それぞれの家庭の事情も様々であり、家庭での読書時間の確保を促すとともに、今、学校でも実践されている「感想の発表」の機会を多く取り入れ、アウトプットを感じた深い理解や表現力を養って、児童のスキルアップを図っていただきたい。 〇 漢字や計算の仕方は、繰り返し勉強して忘れないようにすることが大切。児童同士、お互いに目標を持っているので、これからも頑張ってもらいたい。 〇 漢字コンテストの実施は、漢字学習の意欲付けにもなり、効果も上がっているようなので、ぜひ続けていただきたい。 〇 音読をすると、脳の中で音による認識ができると読めないことに改めて気づくこともある。文章の関係性や表現力も高まり、想像力が広がると思う。 〇 読書を意識づけるための「読書週間」を定期的に設けたらどうだろうか。
	・読書の習慣（家読） 肯定的回答 児童 63% 保護者 59% 教師 44% 平均 55% ・家庭学習 肯定的回答 児童 60% 保護者 64% 教師 22% 平均 49%	6 概ね「2」の評価 〇 学校で取り組んでいる「家読」や図書委員会が薦める本の紹介などの活動をしているが読書の習慣は低いのは、スマートフォンやタブレット、また電子図書類の普及が関係していると思われる。今後も取組の充実と啓発を継続していく 7 概ね「2」の評価 〇 学校では、家庭学習の確実な見届けを続けている。しかし、保護者によって、家庭学習に対する意識や優先順位等に違いがあるため家庭で取り組む習慣が身に付いていない児童がいる。今後も、翌日の授業に直結する課題の提示や配付などの工夫を図りながら、家庭学習の習慣化を図りたい。				〇 家庭学習においては、意識や優先順位に差があるので、保護者による見届けも定着しにくいかもしれないが、子どもたちの意識を変えることの方が実践しやすいかと思う。称賛を繰り返し、気持ちが前向きになったらうれしく思う。

本年度の重点目標		○ 命を大切に、豊かな心を育む教育の推進 【徳：生命を尊重し思いやる喜び】						
評価項目	評価指標	設問番号	学校の自己評価コメント	自己評価	外部評価	学校関係者評価委員コメント		
命を大切に 豊かな心を育む 教育の推進	■基本的な生活習慣の確立 ・あいさつの習慣 肯定的回答 児童 96% 保護者 82% 教師 89% 平均 89% ・学校の生活のきまり 肯定的回答 児童 100% 保護者 100% 教師 100% 平均 100% ・手伝いや清掃(協力) 肯定的回答 児童 97% 保護者 100% 教師 100% 平均 99%	8	概ね「4」の評価 ○ 児童の評価は高いが保護者の評価は低いので、学校と家庭内での差があるのかもしれない。教師の評価は昨年度の76%より大きく上がった。航空自衛隊の方々も朝のあいさつ運動にご協力いただき、その場では元気なあいさつの声が響いていた。元気なあいさつが定着するよう指導を継続していく。	4	4	○ 挨拶は個人差もあり家庭教育の基盤でもあり、地域差も生じやすい課題である。学校・家庭・地域が一体となり、全体で児童の社会性をはぐくむ気運を高めていく必要があると考える。より「進んで」挨拶ができるよう、更なる習慣化を期待したい。 ○ 挨拶のできる児童とそうでない児童も見られ、個人差はあるが、全体的にはよくなったように感じる。 ○ 意識してあいさつをするレベルから、自然にあいさつをしているレベルにまで定着できるとよい。 ○ 落ち着いた雰囲気の中で生活できる環境は、児童一人一人がきまりを守っているからだと思う。きまりを確認することは大切なので継続していただきたい。 ○ 肯定的な回答が全て100%と、きまりを守ることが定着していることに感心している。ただ、ハッピーラウンジでお菓子の袋が放置してあったり、カップラーメンの食べ残しが洗い場に流したままにしてあったりとかあるので、学校外でのルールも守ってほしい。 ○ 手伝いや清掃を通して、人の役に立っていることの素晴らしさを感じ、積極的に活動できる児童の育成をこれからもお願いしたい。		
	■学級の望ましい人間関係と思いやりの心の醸成 ・言葉遣い 肯定的回答 児童 73% 保護者 100% 教師 100% 平均 91%	11	概ね「4」の評価 ○ 児童と保護者・教師間のギャップが大きいのは、児童間の言葉遣いやトラブル時の暴言等が原因である。月に一度、心のアンケートの実施及び定期的な教育相談を実施している。友達同士のトラブルはあったが、速やかな教師の指導・組織的な対応を行いながらトラブルの解決を図ってきた。また、今年度はSSWやSCの方にも児童の様子を見ていただいたり、SCには思いやり委員会に参加していただいたり、研修をしていただくなどの取組を行った。			○ 友達同士のトラブルも、速やかな教師の対応や組織的な対応で解決されていて素晴らしい取組だと思う。 ○ いじめや暴力等、相手に対する問題行動がないのはありがたい。言い争いが起きたときに、適切な時点で解決方法を学校全体で行っていることで長引かせないのが大切である。		
	・人間関係①(人権尊重) 肯定的回答 児童 80% 保護者 100% 教師 100% 平均 93% ・人間関係②(相互協力) 肯定的回答 児童 97% 保護者 94% 教師 100% 平均 97%	12	概ね「4」の評価 ○ 評価は概ね良好だが、児童と保護者・教師間のギャップが大きい。今後も、道徳や学級活動の授業において自分のよさを発見させる時間を確保し、児童一人一人が自己肯定感を高められるような授業実践の充実を図っていく。			○ 本校では、いじめはほとんど無いと聞き、安堵している。多様性の時代の中、個性を認め合い、尊重し合うことをどう理解させるかが課題である(心のアンケートの実施など)。 ○ お互いの長所を認め合い、短所を補い合うことで、よりよい人間関係を作っていくことができる。 ○ 授業の中で友達の良いところを見つけたり自分のよさも気づいたりすることのできるような時間があると自己肯定感が高められると思うので、ぜひ実践をお願いしたい。		
	■整理整頓 ・整理整頓 肯定的回答 児童 74% 保護者 59% 教師 67% 平均 67%	14	概ね「2」の評価 ○ 学校においては、教師が定期的に机や棚の中身をチェックしながら整理整頓の指導を行っている。保護者も教師も評価が低いことから、保護者への啓発のみならず、学校と家庭とが連携して指導を充実させていきたい。			○ 縦割りでの子活動により、困っている友達や下学年に対して、優しい気持ちが育ち、お互いを大切に思う様子も伺える。 ○ 学校全体に落ち着いた雰囲気が感じられる。児童が安心して楽しく学校生活を送れている様子が伺える。今後も良好な環境づくりを継続していただきたい。		
								○ 整理整頓することで、前向きな気持ちになり、学習意欲にもつながるので、積極的な取組をお願いしたい。 ○ 保護者の方も一緒になって片づけをすることで、児童もコツをつかむものです。必要・不必要なものを区別し、必要なものを使いやすい状態に保つことによって、整理整頓で自然に物を大切にします(気持ちがいいと思える気分になる)。 ○ 整理整頓の問題は長く解決できていない。手渡しのプリントが届かないと学校生活が滞ることもなり、頭の整理も流れが悪くなる。

本年度の重点目標		○ 健やかな体の育成と安全教育の充実 【体：健康・安全で共に伸びる喜び】				
評価項目	評価指標	設問番号	学校の自己評価コメント	自己評価	外部評価	学校関係者評価委員コメント
健やかな体の育成と安全教育の充実	■基礎体力の向上 ・外遊びと運動 肯定的回答 児童 86% 保護者 94% 教師 100% 平均 93%	15	概ね「4」の評価 ○ 外で体を動かすことを好み、昼休みはサッカーや鬼遊びをして過ごしている児童が多い。また、2学期後半から一輪車の練習をして過ごす児童も見られるようになってきた。放課後や休日も地域の活動に参加している児童も多い。しかし、家ではゲームばかりしている児童もいるようである。今後は、さらに外遊びを推奨して、運動の楽しさを味わえるようにしたい。 ○ なわとび運動など、授業の中で楽しく記録に挑戦するなどして体力向上を図った。	4	4	○ 昼休み時間に外でサッカーなど楽しく遊んでいる姿をよく見かけている。いろいろな運動が及ぼす影響は、良い相乗効果をもたらすものであり、これらは学校生活の充実感にも大いに寄与するものであり、外遊びなどの運動習慣を身につけてほしい。 ○ 持久走でも、練習時のタイムより本番で記録を更新するなど、向上心をもって取り組んでいる。また走っている児童を進んで応援するなど、保護者ともども温かい心をもっている。 ○ 外で体を動かすことは、体力や運動能力の向上とともに人間関係も豊かになるので、積極的に外に出てほしい。一輪車の導入で新たな経験ができるので、よい刺激にもなる。
	■健康な生活習慣の確立 ・望ましい生活習慣(リズム)の形成 肯定的回答 児童 83% 保護者 94% 教師 67% 平均 81%	16	概ね「3」の評価 ○ 保護者と教師のギャップが大きい。学校での児童の様子から、夜更かしをしたり朝食を摂れていなかったりすること、遅刻の児童が多いことが理由である。保護者の養育・生活方針や生活リズムまた週末の過ごし方も影響している様子が見られる。遅刻しての保護者による送迎登校を繰り返している児童もいる。保護者には保健便りなどを通して啓発を続けている。			○ 規則正しい生活リズムを整えさせる大切さを、児童や保護者にも伝えてほしい。家庭での食生活が児童の健康や肥満に与える影響も大きい。学校での指導内容を家庭へも繰り返し発信し、連携を強化していただきたい。教師から見たギャップが多いのも気になるころではある。普通に毎日食べられていることを当たり前として捉えるのではなく、ものを食べられる喜びや有難さ・感謝の気持ちを大切に、好き・嫌いではなく、命の食として味わう習慣化の指導をお願いします。また、親が生活態度の見本として示し行動させることも基本であり、非常に大切である。「子は親の鏡」と昔から言われている(生活環境の基礎)。 ○ 望ましい生活習慣の確立は、保護者の意識によって左右される。基本的な生活の大切さを何度も繰り返して指導していく必要がある。学校保健委員会の講演を企画されるとよいのではないかと。 ○ 忘れ物を取りに帰ったり、帽子等を忘れて登校したりするのは前日までに準備していないからである。生活リズムや習慣を今のうちに身につけることは社会人になったときに慌てずにすむことにつながる。
	■安全教育の推進 ・安全意識 肯定的回答 児童 97% 保護者 100% 教師 100% 平均 99%	17	概ね「4」の評価 ○ ヘルメットの着用については、集団下校前の指導などを通して随分習慣化してきている。また、警察の方にもご協力いただき、不審者対応避難訓練も実施した。昼休み中の抜き打ち避難訓練や児童が予想外の事故に遭った場合の非常時訓練なども実施し、安全な避難方法について意識を高めるよい機会となった。 今後も計画的・継続的に危機回避能力の育成に取り組んでいきたい。			○ 体調不良や特別な事情以外を除き、できるだけ歩いて登校するよう、家庭にも働きかけていただきたい。結果、自然と体力向上や危険回避につながっていくものである(かわいい子には旅をさせる)。 ○ 安全教育は、思いもよらない事件事故を予防するためにもなくてはならない大切な教育である。100点満点のないことなので、繰り返し学ぶとともに起きることを想定して対策を教え実行できるよう訓練することが大切である。 ○ 自分の命を守る行動ができるよう、正しい知識を身につけ、いざという時に実践できたらいいと思うので、これからも継続していただきたい。

本年度の重点目標		○ 地域に開かれ信頼される学校の実現 【 連：人の役に立ち繋がり合う喜び 】				
評価項目	評価指標	設問番号	学校の自己評価コメント	自己評価	外部評価	学校関係者評価委員コメント
地域に開かれ信頼される学校の実現	■家庭・地域社会との連携 ・学校と家庭との連絡 肯定的回答 児童 93% 保護者 83% 教師 89% 平均 88%	18	概ね「4」の評価※ ○ 家庭と学校・学級との連絡を図るため学級通信等を定期的に発行している。保護者の評価が最も低いのは、児童が自ら進んで見せていない、渡していないのが理由ではないかと思われる。大事な連絡がある場合もあるので、家庭と連携して確実に情報が伝わるように指導していきたい。	4	4	○ 学校・家庭・地域が一体となった連携の重要性は認識されており、現状の情報発信（学校だより等）がなされ、地域住民にも学校の様子が伺い知れ、これからも開かれた学校として取り組んでいただき、深く浸透させてもらいたい。 ○ 学校からの通信も定期的に出され、ホームページへの掲載もあり、学校の様子が伺える。 ○ 学校からの大事な連絡、プリント類もあると思うので、児童自ら見せられるように指導をお願いしたい。
	・親子の会話 肯定的回答 児童 86% 保護者 83% 教師 77% 平均 82%	19	概ね「3」の評価※ ○ 家庭によって差があるようである。教師も児童の話から家庭での会話が少なくなってきたと判断したのではないかと思われる。スマートフォンに夢中？で会話が少なくなってきたことも予想される。家庭で親子のふれあいの時間が十分に確保できない事情もあるのではないか。学校での様子をお子さんに聞くなどして少しでも親子の会話をもつよう保護者に投げかけたり啓発したりしていきたい。			○ 親子間のコミュニケーションが高いほど、学習意欲が高かったり知的的好奇心も育まれたりすると思うので、親子で向き合う時間を確保してほしい。
	・地域との交流 肯定的回答 児童 97% 保護者 100% 教師 100%	20	概ね「4」の評価 ○ 本年度は、市木柱松、神社大祭、市木浜クリーン大作戦といった行事に参加することができた。また、テイスービス訪問やグランドゴルフなど地域との交流を積極的に行った。交流も深まり、児童の地域への理解と愛情も深まっているので今後も積極的に実施していきたい。また学校が地域の方にとって身近に感じるように努めていきたい。			○ 授業の中で、地域のことを調べる学習に取り組んでいることは、とてもよいことだと思う。 ○ 地域との交流活動に参加することは、郷土を愛することにもつながるので、ぜひ続けていただきたい。 ○ ふれあい活動など、地域の方々が参加・協力していることは大変評価できるので、今後も続けていただきたい。
	・学校からの情報発信 肯定的回答 保護者 94% 教師 100% 平均 97%	21	概ね「4」の評価 ○ 保護者の評価が9割を超えてはいるものの、100%ではない。学校の情報がより伝わるように、ホームページや通信の工夫も行っていきたい。 急な連絡を要する場合は、マチコミメールを活用し、迅速な情報発信を行っている。 ※ 教師は、「地域の人材や素材を活用した授業を行っているか」で評価をしている。			○ 学校だよりは回覧板で拝見でき、情報が一読でき、大変楽しみにしている。ホームページの掲載もされており、楽しみにしている。
	・学校の対応 肯定的回答 保護者 100% 教師 100% 平均 100%	22	概ね「4」の評価 ○ 全ての保護者・職員が肯定的な回答をしている。今後は、さらに保護者や地域の方々の意見や要望等に対して、真摯に対応するよう心がけていきたい。 職員は、今後も報告・連絡・相談を心掛けるとともに徹底していく。			○ 保護者100%、教師100%の回答があり、信頼関係が築けていることの結果で嬉しいかぎりである。これからも誠意ある対応をお願いしたい。